

Q & A

EA922TE-11 950ml 撥水・防汚コーティング剤(超強力/下塗り)
EA922TE-12 950ml 撥水・防汚コーティング剤(超強力/上塗り)



Q1: どのようなコーティング剤ですか？

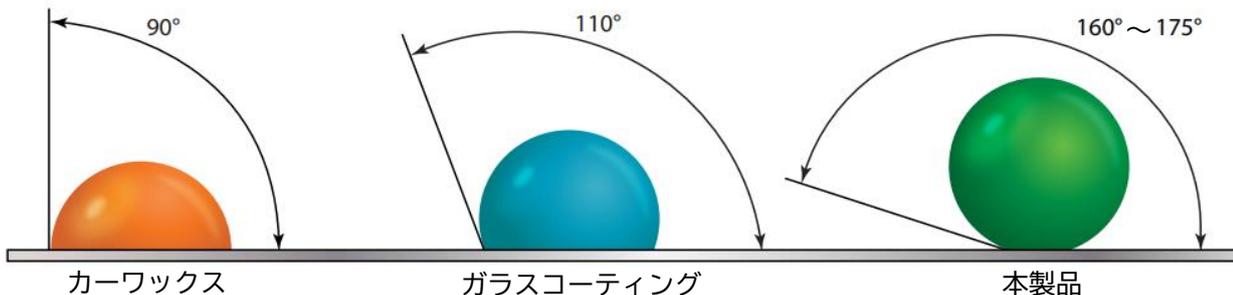
A. 高い撥水性を持ったコーティング剤です。

下塗り剤はほとんどの素材に接着し、プライマーの役割を果たします。上塗り剤との接着に安定した下地を形成し、上塗り剤との作用で、コーティング表面は幾何学的な形状と数多くの空間（隙間）ができます。この形状の高い部分にのみ水滴が触れる(コーティングと水滴が極わずかしか接触しない)ことになり、高い撥水性が生まれます。

Q2: 「撥水性」とはどのような意味ですか？

A. 水をはじく性質となります。本製品のコーティング表面は、 $160\sim 175^\circ$ の接触角となり撥水します。又、「撥油性」※も併せ持ちます。

(※油をはじく性質、本製品の撥油性は水よりも表面張力が小さい油性の液体をはじく性質となり、すべての油をはじく訳ではありません。)



Q3: 効果はどのくらい持続しますか？

A. 約1年です。(屋外などで紫外線の影響を受けると短くなります。)

コーティングが剥がれた場合は、上塗り剤を再塗布するだけで効果が回復する場合があります。

(下塗り剤が残っていることが前提となります。)また、コーティングは摩耗に弱い性質があります。

Q4: 使用温度範囲はどのくらいですか？

A. コーティングは $10\sim 32^\circ\text{C}$ の範囲で行い、コーティング後は $-34\sim 149^\circ\text{C}$ の範囲で性能を保ちます。

Q5: どのような素材に使用できますか？

A. 鉄、アルミ、その他の金属、プラスチック、革、布、木、コンクリートなどに使用できます。

滑らかな表面の場合、サンドペーパー(320~800番)をかけることでより接着性が高まります。

本製品は溶剤が多く含まれるため、アクリルには使用できません。

Q6: 表面のコーティングは何色ですか？

A. コーティング後は霞がかかった半透明の白色になります。

Q7：何平方メートルをコーティングできますか？

A.950ml、乾燥膜厚13 μ mで6 m^2 です。

Q8：硬化時間はどれくらいですか？

A.下塗り：30～60分乾燥させてください。60分乾燥させると最良の効果となります。

上塗り：塗布してから15～30分で超撥水性になります。効果を高める為には、さらに2時間の乾燥時間が必要です。一晚乾燥させると最も効果が高くなります。

Q9：保存可能期間と保存温度はどのくらいですか？

A.4～40 $^{\circ}$ Cの間で保存した場合、製品の保存期間は4年です。

Q10：耐薬品性はどの程度ですか？

A.化学物質によります。酸や塩基を含む広い範囲に耐性があります。

油性の液体は一部耐性がありません。アセトン、キシレンなどの有機溶剤には耐性がありません。事前にテストをしてからのご使用をお勧めします。

Q11：コーティングにあわない既知の物質は何ですか？

A.石鹼や洗剤を使うと、撥水状態にはなりません。この場合水で流すと、撥水性は戻ります。

アルコールや溶剤は、コーティングが溶解して剥がれる原因となります。

Q12：腐食防止に役立ちますか？

A.耐腐食性があります。下塗り剤を厚く塗布すると、通常寿命が長くなります。既存の塗装面や

ポリウレタンコーティングなどの処理面の上に塗布することで、効果と寿命を高めることができます。

Q13：使用方法を教えてください。

A.エアコンプレッサーで低圧(HVLP)スプレーガン、またはエアブラシを使った塗布が最適です。

適切な保護具を着用し作業をしてください。



Q14：導電性はありますか？

A.導電性はありません。スイッチなど電気部品、照明器具などにも使用できます。

Q15：素材を介した通気性にどのような影響を与えますか？

A.素材によりますが、通常、コーティングを厚く塗ると、空気の透過率は低下します。

Q16：布地に塗布した場合、洗濯で落ちますか？

A.数回の洗濯、場合によっては1回の洗濯で効果が落ちてしまいます。

Q17：水や液体に浸かった状態で使用できますか？

A.素材の種類、浸漬の深さ、浸漬時間、および特定の用途によって異なります。

例)塗布した鋼材を水深30cm以下の塩水に30日間浸漬しても、腐食の影響はありません。

Q18：常に液体が流れているパイプの中で使用しても良いですか？

A.使用できません。配管内を流れる液体によってコーティングが摩耗します。

Q19：コーティングを手でこすると手に付着します。問題ないでしょうか？

A.こすると手に付着するものは、下塗り剤に接着しなかった余分な上塗り剤の粒子です。

皮膚の油分によって、程度により性能が低下することがあります。

Q20：粉体が付着するのを防げますか？

A.コーティング表面は滑らかではなく粗い表面となり、より多くの粉体が付着する場合があります。

Q21：成分にシリコンは含まれていますか？

A.シリコンは含まれていません

Q22：車に使用しても良いですか？

A.作業車両やオフロード車などの汚れを防止する目的で使用できます。

コーティング後は外観が白っぽくなるため、ボディや窓ガラスへの使用はお勧めできません。

Q23：落書き防止に使用しても良いですか？

A.コーティング表面は溶剤が含まれる為、油性塗料を防ぐことは出来ません。

(水性塗料ではある程度効果がありますが、スプレー塗料は油性の場合が多い)

Q24：船底にスプレーしても良いですか？

A.ボートや船底に塗布することはお勧めできません。高エネルギー(高速度)の流れが

コーティングを傷つけたり、剥がしたりする可能性があります。